

目的

○新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校、中学校および高等学校における英語教育に関する教育課程等の改善に資する調査および研究を推進し、成果の普及による県内の外国語活動および英語を担当する教員の指導力向上と英語教育の充実を図る。

英語教育強化拠点地域 県内に5地域

小学校
中学校
高等学校

× 5 地域

- 彦根市立小中+長浜北高
- 高島市立小中+高島高
- 甲賀市立小中+水口高
- 守山市立小中+草津東高
- 竜王町立小中+河瀬高

- ・小中高が連携し、系統的な英語教育を推進
- ・強化地域間の交流を促進(教員の旅費を支給)
- ・研究にかかる教材や書籍代を支給
- ・小学校、および高校に、専門性の高いALTを派遣
- ・滋賀大学より学生サポーターを派遣
- ・G-TECのモニター受検で英語力を調査(小中)



小学校英語専科 加配教員を配置

小学校英語パイオニアプロジェクトと連携し、小学校英語について、授業研究や年間指導計画等の開発



普及

研修

在籍市町の小学校

- ・モデル授業の公開
- ・授業改善に係る支援
- ・指導計画等の共有

全県に普及

- ・加配教員が開発した年間指導計画等を全県に公開

新学習指導要領の趣旨を踏まえた研究

小学校：英語教育の早期化、教科化に向けた指導や評価、「読むこと」「書くこと」を含めた言語活動、モジュール学習の研究等

中学校：教科書等の本文で取り上げられている題材や言語材料を使った言語活動や、即興で話すスピーキング能力の育成等

高等学校：発表、討論・議論、交渉などにおける統合的な言語活動等

事業の柱 年2回以上の授業公開

- ・大学教授等を招いての授業研究会
- ・新学習指導要領のポイントとなるテーマに沿った授業研究

普及

- ・県内のすべての小・中・高等学校に対して授業公開
- ・研究成果を、教員研修会等の機会を使い全県に普及

新学習指導要領に対応した指導計画の作成や授業実践 → 県内にそれらを普及 → 新学習指導要領の先行実施